

改善活動の基本、「5S」活動を考える
—「TICAD V (ファイブ)」と「足利5S学校」—

開倫塾
塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今、横浜で、TICAD V(ティカッド ファイブ)というアフリカ支援開発会議が開かれています。私も2、3日参加させていただこうと思っています。東京にある公益社団法人経済同友会の中には「アフリカ委員会」があり、実は、私もそこに4、5年入らせてもらっているのです。アフリカの開発支援に関して日本の産業界からどのようなことを政府に対して要望、提言したらよいかをTICAD Vに向けてずっとまとめていました。日本の果たすべきアフリカ支援の上で大切なことの1つは、日本が持っている素晴らしい教育の力をアフリカの開発のために活用してもらいたいということです。例えば、高等学校の教育の中に産業教育という商業高校や工業高校、農業高校、また高等専門学校やいろいろな専門学校での教育があります。日本の産業教育は非常に優れていますので、その成果をアフリカの開発のために利用していただき、それを日本政府が政府開発援助(ODA)を使って行えばアフリカの方々のためになるのではないかと。また、日本の企業や日本人の方々がアフリカでこれから活躍するときに、非常によい印象を持ってアフリカで迎えていただけるのではないかと私は考え、強く主張させていただきました。
3. これから20～30年の間に人口が20億人ぐらい増えると予想される世界で唯一の大陸がアフリカです。人口が20億人も急増することが予想されるアフリカの発展のために、果たすべき日本の役割として最も適切なものの一つとして、私は教育がよいのではないかと考えて、経済同友会はじめ様々な場所でたびたび提言をさせていただきました。いくつかの内容が政府に向けての答申に入ったような気がします。
4. せっかく50数カ国のアフリカの方々が日本に来ていらっしゃいますので、TICAD Vにぜひ関心を持っていただいて、ラジオ・新聞等で報道された内容を見ていただきたいと思います。また、横浜に行ってくださいと皆さんが参加できる会議もありますので、お時間のある方はTICAD Vのイベントに参加していただければと思います。どうかよろしく願いいたします。
5. 産業教育の1つに「改善活動」をどのように行ったらよいかというテーマがあります。「改善活動」の第一歩、最重要の取り組みは「5S(ごえす)」です。先週の5月25日(土)・26日(日)・27日(月)に足利市で「第8回全国模擬授業大会」が開かれました。その3日目の27日(月)には、「足利流5S」の見学会がありました。去年の11月に「第1回世界5Sサミット」が開かれましたので、その「世界5Sサミット」のコンパクト版を足利5S学校の御協力を得て1日で行ってみました。その様子を少しご紹介させていただきます。

6. 「5S(ごえす)」というのは、「整理・整頓・清掃・清潔・躰」のことで、この5つの頭文字がSで始まりますので5Sといます。足利商工会議所の中にある「足利5S学校」が提唱する「足利流5S」というのは「5S」の順番を入れ替え、「整理(不要なものを捨てよう)」のあとに「清掃(常に綺麗な状態を保とう・常にきれいにしよう)」がきます。このように「整理」のあとに「清掃」が入るのが足利流の「5S」で、非常に独創的でユニークなものです。そして、そのあとに「整頓(すぐにものが取り出せるようにしよう)」があって、「清潔(その状態をずっと保とう)」がきます。最後に、「躰(人から言われるのではなく、自分の意志で整理・清掃・整頓・清潔をやろう)」があり、この5つを5Sとしています。

7. 実は、足利市には毎週のようにたくさんの方々が「足利流5S」を見学にいらっしゃいます。また、世界各国からも月に何チームかが5Sの見学に足利市にいらっしゃいます。ですから、世界でも指折りの5Sの盛んな町が足利市です。経済産業省のサービス政策課の前田課長のおすすめもあり、2012年11月には「第1回世界5Sサミット」が足利市で開かれました。また、今回全国模擬授業大会のアフターイベントとして世界の5Sサミットのコンパクト版を1日にまとめてさせていただき実行しました。

8. 8月27日には、まずは、足利商工会議所の「足利5S学校」の校長先生である石井機械製作所会長 石井金吾先生から、足利市ではどのようにして5Sが始まったのか、5Sというのはどのくらい世の中に役に立つのかということについてお聞きしました。石井先生は素晴らしい方で、私も尊敬している方です。そして、5Sの指導で極めて注目をあつめている木村5S実践舎の代表である木村温彦先生から1時間ぐらい5Sとは何かについてのお話を聞きました。その後、実際に5Sに一所懸命取り組んでいる高等学校、栃木県立足利清風高校へ私を含めて50名の方がバスで移動しました。栃木県立足利清風高校へ行って驚いたのは、学校中がピカピカで、生徒さんも生き生きと勉強していることでした。ちょっと変な言い方ですが、茶髪の方は1人もいません。長いスカートをはいている方が1人もいません。先生方も生徒の皆さんも、皆さんが目キラキラ輝かせていました。これほど生徒さんたちが熱心に授業を受けたりクラブ活動をしたりしている高校はないのではないかと思います。見学に訪れた50名の方が2チームに分かれていろいろなクラスに行かせてもらいました。5Sの考え方やいろいろな考え方も入れられていると思いますが、とにかく整理・整頓が行き届いた綺麗な学校でした。図書館も素晴らしいですし、校長先生、教頭先生、すべての先生方が熱心でした。子どもたちがこのような学校で勉強できたらいいなと思いました。

9. さらに、足利市役所は日本で唯一5Sをやっている市役所ですので、みんなで見学をさせていただきました。そのあとに、オグラ金属という素晴らしい会社も訪問させていただきました。オグラ金属は、350～400名の方が一体となって「テーマパーク性のある5S活動」という日本でここだけのユニークな活動を行っています。足利流の5Sは、トップの方が「5S活動をやりましょう」と宣言されるだけで、そのあとは社員の方や市役所の職員の方、先生方が自主的にやる5Sですので、長続きしていて非常にユニークだと皆様から高い評価を受けました。

10. 今日は、5月26日(日)の全国模擬授業大会の翌日の27日(月)に、昨年11月の「世界5Sサミットのコンパクト版」を行いましたので、その様子を紹介させていただきました。皆さんも、整理・整頓・清掃・清潔・躰の5Sを、整理の次に清掃が入るのが足利流ですが、ぜひやっていただければと思います。アフリカの支援の内容としての改善活動の基本としても5Sは大切と考えます。

— 2013年9月6日(金)加筆・訂正、林明夫—